

集落営農法人の設立と運営支援

高島農業普及指導センター

【普及活動のねらい・対象】

旧安曇川町の上安曇地区 8 集落は令和 5 年度から約 170ha のほ場整備事業実施を計画しています。工事後には 153ha の農地になると予想されていますが、その 85% の 130ha を担い手で耕作することで工事費の地元負担がほとんどなくなります。

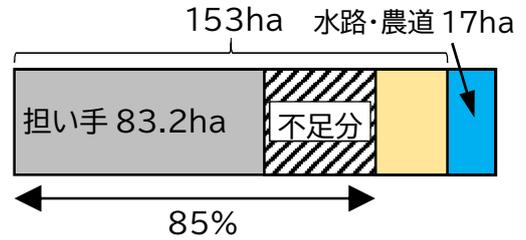


図1 アンケート調査結果

平成 31 年 2 月にアンケート調査を実施したところ、担い手が耕作できると回答があったのは 83.2ha 程度で、85% の集積には約 45ha 不足するという結果となりました。そこで、8 集落で協業組織を設立し約 45ha を耕作することとなりました。

【普及活動の内容】

第1に、地域の皆さんから親んでもらえるよう法人名の公募を提案しました。6 つの案が提出され、“8 集落が 1 つになる”、という意味で『上安曇81営農組合』と決定されました。

第2に、事業目論見書の作成を支援し、地域全体の合意を得るために集落別の説明会の開催を提案し、6月下旬～7月上旬に8集落の農業者を対象に説明会が実施されました。

第3に、事業目論見書をもとに定款の作成について指導し、12月から組合員の募集が開始されました。1月16日には設立総会が開催されました。開催方法は集落営農検討チームと話し合った結果、各集落代表のみの参加としました。組合員は地域の農業者の87%、214名になりました。



写真1 1月16日設立総会

【普及活動の成果】

地域の担い手の1つとして法人組織が設立されました。このことによって、地域の農地の85%以上を担い手に集積できることが確実となり、ほ場整備事業に正式に取り組むこととなりました。

現在のところ令和5年度には工事が開始される見込みです。工事完成後は 1ha 区画となることから、土地利用の方法やスマート農業の導入など、ほ場整備が活かされるような農業の提案を行います。

◎対象者の意見

法人化は手段であって目的ではない。ほ場整備事業ができて、上安曇で魅力ある農業が続けられるよう、引き続き支援をお願いしたい。(上安曇81営農組合 理事長)